



セキュリティソフト

PASS(Password Authentication Security System) x AES

ユーザーズマニュアル

■本マニュアルの内容

表面	WindowsでPASS x AESを使用する PASS x AESを使用する前に PASS x AESを使用してデータを保護する PASS x AESの設定を変更する
裏面	MacintoshでPASS x AESを使用する PASS x AESを使用する前に PASS x AESを使用してデータを保護する PASS x AESの設定を変更する 動作環境とユーザーサポート 動作環境 ユーザーサポートについて

■はじめに

本ユーザーズマニュアルは、USBフラッシュメモリで使用するセキュリティソフト「PASS(Password Authentication Security System) x AES」を利用して、データを保護する方法について説明しています。ご使用になる前によくお読みください。

■ご使用にあたって

- セキュリティソフト「PASS x AES」について、消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。誤って削除するとセキュリティソフト「PASS x AES」が使用できなくなりますので、注意してください。
- 大切なデータは万が一の場合にそなえ、他の記憶媒体などに、定期的にバックアップされることをお勧めします。
- パソコンの電源が入った状態で、USBフラッシュメモリをパソコンから取り外す際には、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。「セキュリティフォルダを隠す」を参照してください。無理に取り外すと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。
- 消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負い兼ねます。

●セキュリティソフト「PASS x AES」を使用する場合は、他(当社/当社以外全て)のUSBフラッシュメモリと同時に使用しないでください。PASS x AESまたは他のUSBフラッシュメモリのソフトが誤動作を起こす可能性があります。

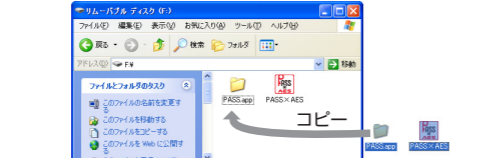
WindowsでPASS x AESを使用する

PASS x AESを使用する前に

PASS x AESは、「PASS x AES」プログラムをUSBフラッシュメモリ内にコピーして使用します。次の方法で、「PASS x AES」プログラムをお使いのUSBフラッシュメモリ内にコピーしてください。

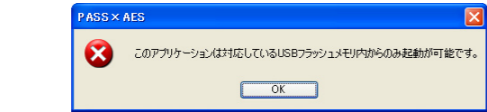
- 1 ホームページからUSBフラッシュメモリ用セキュリティソフト「PASS x AES」をパソコンのデスクトップ上にダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍してください。「PASS x AES(.exe)」と「PASS x AES.app フォルダ」、「readme.txt」の3個のファイルが現れます。
- 3 お使いのUSBフラッシュメモリを認識しているリムーバブルディスクをダブルクリックし、このフォルダ内に「PASS x AES(.exe)」と「PASS x AES.app フォルダ」をコピーします。

●「PASS x AES.app」はMacintoshで使用するプログラムです。



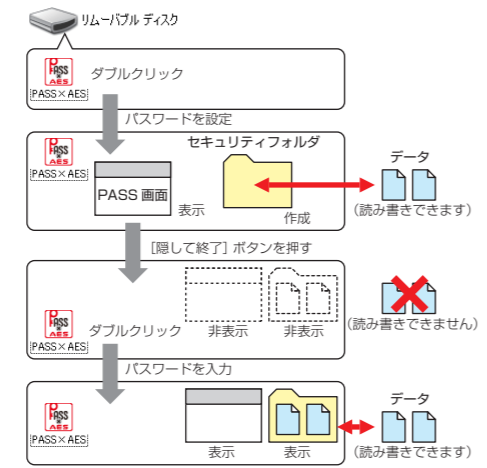
●「PASS」をご使用の場合
「PASS(.exe)」と「PASS.app」を一旦削除してから、「PASS x AES(.exe)」と「PASS x AES.app フォルダ」をコピーしてください。パスワード、パスワードレスの設定は引き継がれます。

●必ずUSBフラッシュメモリ内にコピーした「PASS x AES(.exe)」を実行してください。パソコンのデスクトップやフォルダからは実行できません。



PASS x AESを使用してデータを保護する

PASS x AESを使用してUSBフラッシュメモリ内にセキュリティフォルダを作成します。そのフォルダにデータを保存し、隠す(非表示にする)ことで、データを保護することができます。



●セキュリティフォルダはWindowsパソコン/Macintosh共通で使用できます。

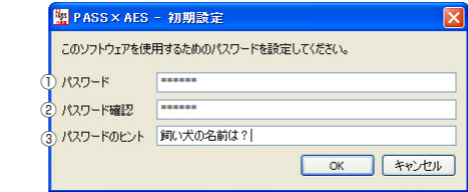
●正しいパスワードを入れることができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して、当社は一切の責任を負いません。また、一切の保証をいたしません。

セキュリティフォルダを作成する

PASS x AESをはじめて起動したときは、USBフラッシュメモリ内にセキュリティフォルダを作成します。

- 作成したセキュリティフォルダを削除した場合も、次の手順で作成し直してください。
- 1 「コンピュータ(Windows 7では「コンピューター」)」または「マイコンピュータ」からUSBフラッシュメモリをダブルクリックします。例えば、パソコンの最後のドライブがEの場合、「リムーバブルディスク(F:)」と表示されます。
- 2 USBフラッシュメモリ内の「PASS x AES」をダブルクリックします。初期設定画面が表示されます。

- はじめて起動したときは、「使用許諾書」の画面が表示されます。内容をよくお読みになり許諾をいただいた上で「同意する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 3 各項目を入力します。



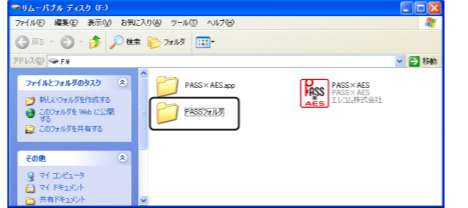
- ① パスワード
任意のパスワードを半角英数字63文字以内で入力します。
- ② パスワード確認
①で入力したパスワードを再度入力します。
- ③ パスワードのヒント
パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなヒントを入力します。入力しなくてもかまいません。設定すると、認証画面の「ヒント...」ボタンをクリックして、設定したパスワードのヒントを表示できます。

●解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

- 4 [OK]ボタンをクリックします。USBフラッシュメモリ内にセキュリティフォルダ「PASS フォルダ」が作成されます。また、「PASS x AES」画面が表示されます。

●セキュリティフォルダはWindowsパソコン/Macintosh共通で使用できます。

■セキュリティフォルダ
このセキュリティフォルダに保存したデータを保護することができます。



- フォルダ名は変更できます。
- ご使用環境により、本製品内に「ごみ箱」が表示されますが、PASS x AESの仕様です。異常ではありません。

■セキュリティフォルダ内のデータの暗号化

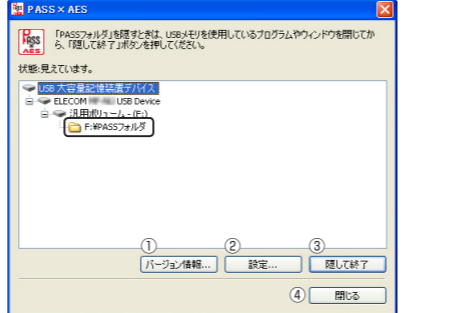
セキュリティフォルダに保存されたデータは暗号化して保存されます。データそのものを暗号化していますので、USBフラッシュメモリを分解して直接データを取り出そうとしても、そのままでは内容を閲覧することはできません。暗号化方式には、米政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES方式(256bit)」を採用しています。



●暗号化されるのはセキュリティフォルダに保存したデータのみです。

■PASS x AES画面

このPASS x AES画面からセキュリティフォルダを隠したり、PASS x AESの設定を変更したりすることができます。



- ① [バージョン情報] ボタン
クリックすると、バージョン情報が表示されます。
- ② [設定] ボタン
「PASS x AESの設定を変更する」を参照してください。

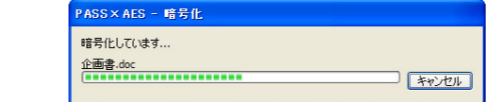
- ③ [隠して終了] ボタン
「セキュリティフォルダを隠す」を参照してください。
- ④ [閉じる] ボタン
クリックすると、PASS x AES画面を閉じます。ただし、セキュリティフォルダは読み書きできる状態です。

セキュリティフォルダを隠す

セキュリティフォルダを隠して(非表示にして)、USBフラッシュメモリ内から見えなくします。セキュリティフォルダのデータが読み書きできなくなります。

●パソコンの電源が入った状態で、USBフラッシュメモリをパソコンから取り外す際には、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。その後、タスクトレイまたは通知領域上で「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。無理に取り外すと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。

- 1 USBフラッシュメモリ内から起動しているプログラムやウィンドウを閉じます。
- 2 PASS x AES画面で「隠して終了」ボタンをクリックします。
- 3 セキュリティフォルダ内のデータを暗号化して、セキュリティフォルダを見えなくします。

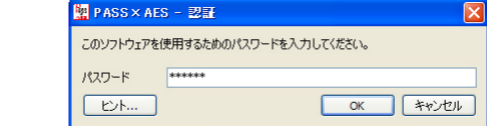


●セキュリティフォルダを表示しているときに、「PASS x AES」画面が表示されていない場合は、USBフラッシュメモリ内の「PASS x AES(.exe)」をダブルクリックするか、タスクトレイまたは通知領域の「PASS」アイコンをクリックすると、「PASS x AES」画面が表示されます。※ Windows® 7で通知領域に「PASS」が表示されている場合は、「PASS」をクリックして「PASS」アイコンします。

セキュリティフォルダおよびPASS x AES画面を表示する

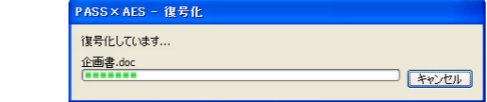
セキュリティフォルダを表示してデータを読み書きする場合や、「PASS x AES」画面を表示してPASS x AESの設定を変更する場合は、次の手順でPASS x AESを起動します。

- 1 USBフラッシュメモリ内の「PASS x AES」をダブルクリックします。認証画面が表示されます。
- 2 「パスワード」を入力し、「[OK]」ボタンをクリックします。



●「ヒント...」ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

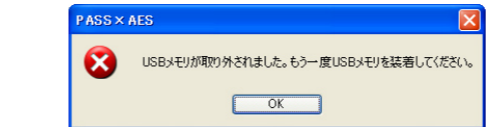
●セキュリティフォルダ内の暗号化されたデータを複合化します。USBフラッシュメモリ内にセキュリティフォルダが表示されます。



また、「PASS x AES」画面が表示されます。

●PASS x AESを起動したときに、「PASS x AES」画面が表示されないように設定することもできます。「PASS x AES起動時にPASS x AES画面を表示しない」を参照してください。

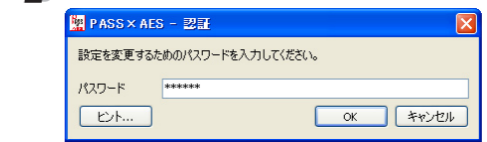
●USBフラッシュメモリを取り外すときは、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。



PASS x AESの設定を変更する

PASS x AESの設定を変更するときは、次の手順で設定画面を表示し、各設定を変更します。

- 1 PASS x AES画面の「設定」ボタンをクリックします。認証画面が表示されます。
- 2 「パスワード」を入力し、「[OK]」ボタンをクリックします。



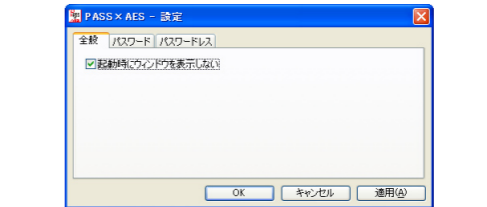
●「ヒント...」ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

●設定画面が表示されます。各設定の詳細は、以降を参照してください。

PASS x AES起動時にPASS x AES画面を表示しない

PASS x AESを起動したときに、「PASS x AES」画面を表示しないように設定できます。

- 1 設定画面を表示し、「[全般]」タブで「起動時にウィンドウを表示しない」にチェックを入れます。

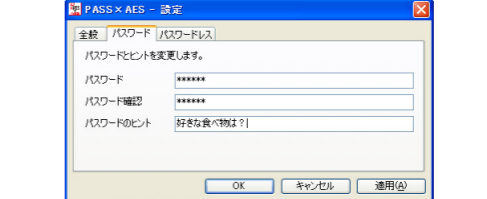


- 2 設定画面の「[OK]」ボタンまたは「[適用]」ボタンをクリックします。

パスワードを変更する

現在設定しているパスワードとヒントを変更できます。

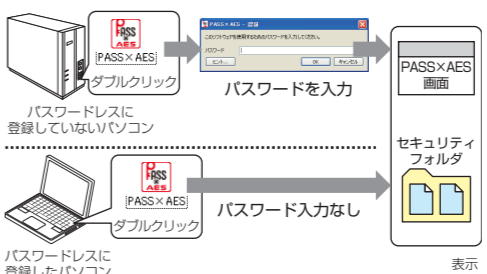
- 1 設定画面を表示し、「[パスワード]」タブをクリックします。



- 2 各項目を入力します。詳細は、「セキュリティフォルダを作成する」の手順3を参照してください。
- 3 設定画面の「[OK]」ボタンまたは「[適用]」ボタンをクリックします。

パスワードを入力せずにPASS x AESを起動する

いつもご使用になっているご自分のパソコンなどをパスワードレスパソコンとしてあらかじめ登録しておくこと、パスワードを入力しなくてもPASS x AESを起動できます。他のパソコンではデータを盗み見されないように保護し、ご自分のパソコンではすぐに読み書きしますので、頻りにデータをやり取りする場合などに便利です。



●パスワードレスに登録したパソコン
登録したパソコンにお使いのUSBフラッシュメモリを接続した場合のみ、「PASS x AES(.exe)」をダブルクリックするだけで、すぐにPASS x AES画面とセキュリティフォルダが表示できます。

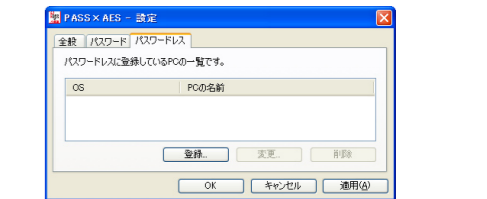
■パスワードレスパソコンを登録する

●WindowsパソコンとMacintoshを合わせて3台まで登録できます。

- 1 登録するパソコンにお使いのUSBフラッシュメモリを接続します。

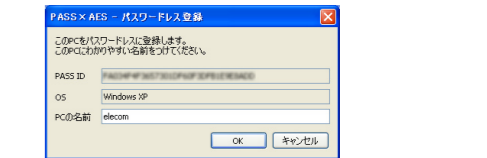
●お使いのUSBフラッシュメモリを接続したパソコンのみ登録することができます。必ず登録するパソコンにPASS x AESをコピーしたUSBフラッシュメモリを接続し、以降の操作を行ってください。

- 2 設定画面を表示し、設定画面の「パスワードレス」タブをクリックします。



- 3 「[登録]」ボタンをクリックします。パスワードレス登録画面が表示されます。

- 4 「PCの名前」を入力し、「[OK]」ボタンをクリックします。Windowsの情報が自動的に入力されますが、任意の名前に変更できます。

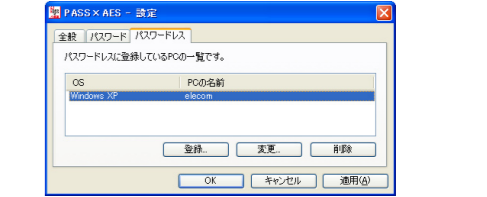


- 5 設定画面の「[OK]」ボタンまたは「[適用]」ボタンをクリックします。

■登録したパスワードレスパソコンの名前を変更する

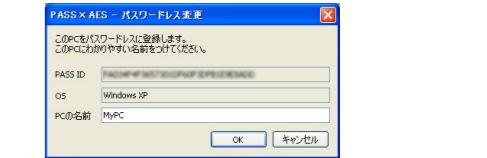
●登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも変更できます。

- 1 設定画面を表示し、「[パスワードレス]」タブで変更するパスワードレスパソコンの「PCの名前」を選択します。



- 2 「[変更]」ボタンをクリックします。パスワードレス変更画面が表示されます。

- 3 「PCの名前」を変更し、「[OK]」ボタンをクリックします。

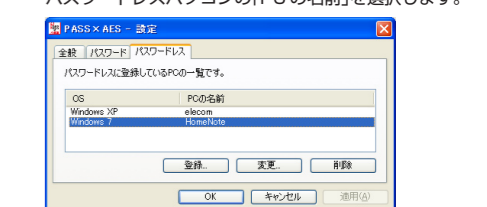


- 4 設定画面の「[OK]」ボタンまたは「[適用]」ボタンをクリックします。

■登録したパスワードレスパソコンを削除する

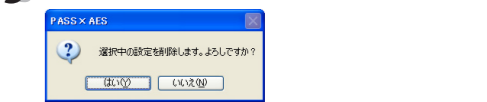
●登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも削除できます。

- 1 設定画面を表示し、「[パスワードレス]」タブで削除するパスワードレスパソコンの「PCの名前」を選択します。



- 2 「[削除]」ボタンをクリックします。確認画面が表示されます。

- 3 「[はい]」ボタンをクリックします。



- 4 設定画面の「[OK]」ボタンまたは「[適用]」ボタンをクリックします。

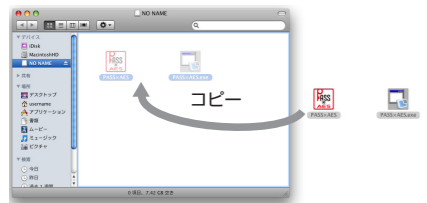
MacintoshでPASS × AESを使用する

PASS × AESを使用する前に

PASS × AESは、「PASS × AES」プログラムをUSBフラッシュメモリ内にコピーして使用します。次の方法で、「PASS × AES」プログラムをお使いのUSBフラッシュメモリ内にコピーしてください。

- 1 ホームページからUSBフラッシュメモリ用セキュリティソフト「PASS × AES」をパソコンのデスクトップ上にダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍してください。「PASS × AES」と「PASS × AES.exe」、「readme.txt」の3個のファイルが現れます。
- 3 お使いのUSBフラッシュメモリを認識しているリムーバブルディスクをダブルクリックし、このフォルダ内に「PASS × AES」と「PASS × AES.exe」をコピーします。

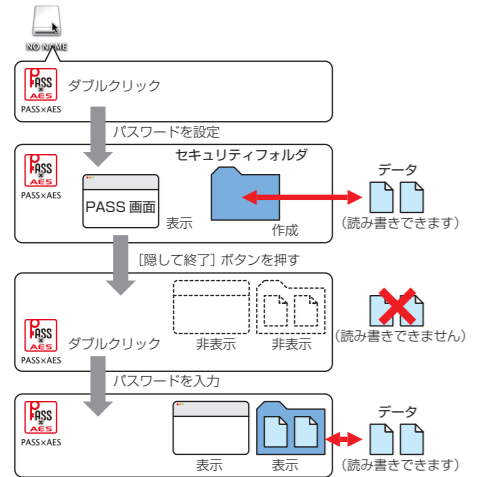
「PASS × AES.exe」はWindowsで使用するプログラムです。



「PASS」をご使用の場合「PASS」と「PASS.exe」を一旦削除してから、「PASS × AES」と「PASS × AES.exe」をコピーしてください。パスワード、パスワードレスの設定は引き継がれます。

PASS × AESを使用してデータを保護する

PASS × AESを使用して本製品内にセキュリティフォルダを作成します。そのフォルダにデータを保存し、隠す(非表示にする)ことで、データを保護することができます。



セキュリティフォルダはMacintosh / Windowsパソコン共通で使用できます。

正しいパスワードを入れることができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して、当社は一切の責任を負いません。また、一切の保証をいたしません。

セキュリティフォルダを作成する

PASS × AESをはじめて起動したときは、本製品内にセキュリティフォルダを作成します。

作成したセキュリティフォルダを削除した場合も、次の手順で作成し直してください。

- 1 デスクトップにマウントされたUSBフラッシュメモリをダブルクリックします。

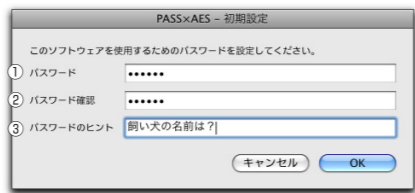


- 2 USBフラッシュメモリ内の「PASS × AES × AES」をダブルクリックします。初期設定画面が表示されます。

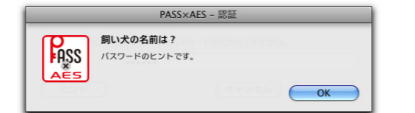


はじめて起動したときは、「使用許諾書」の画面が表示されます。内容をよくお読みになり許諾をいただいた上で「同意する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

- 3 各項目を入力します。



- 1 パスワード
任意のパスワードを半角英数字63文字以内で入力します。
- 2 パスワード確認
①で入力したパスワードを再度入力します。
- 3 パスワードのヒント
パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなヒントを入力します。入力しなくてもかまいません。設定すると、認証画面の[ヒント]ボタンをクリックして、設定したパスワードのヒントを表示できます。



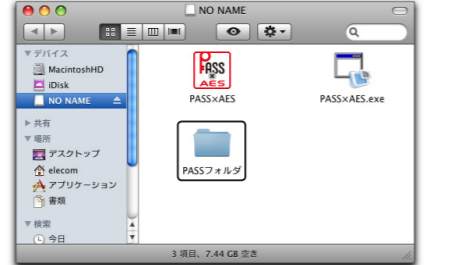
解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

- 4 [OK]ボタンをクリックします。USBフラッシュメモリ内にセキュリティフォルダ「PASS × AES フォルダ」が作成されます。また、PASS × AES画面が表示されます。

セキュリティフォルダはMacintosh / Windowsパソコン共通で使用できます。

■セキュリティフォルダ

このセキュリティフォルダに保存したデータを保護することができます。



フォルダ名は変更できます。

■セキュリティフォルダ内のデータの暗号化

セキュリティフォルダに保存されたデータは暗号化して保存されます。データそのものを暗号化していますので、USBフラッシュメモリを分解して直接データを取り出そうとしても、そのままでは内容を閲覧することはできません。暗号化方式には、米国防務標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES方式(256bit)」を採用しています。



暗号化されるのはセキュリティフォルダに保存したデータのみです。

■PASS × AES画面

このPASS × AES画面からセキュリティフォルダを隠したり、PASS × AESの設定を変更したりすることができます。



- 1 [バージョン情報]ボタン
クリックすると、バージョン情報が表示されます。
- 2 [設定]ボタン
「PASS × AESの設定を変更する」を参照してください。
- 3 [隠して終了]ボタン
「セキュリティフォルダを隠す」を参照してください。

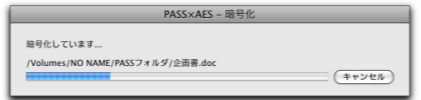
- 4 [閉じる]ボタン
クリックすると、PASS × AES画面を閉じます。ただし、セキュリティフォルダは読み書きできる状態です。

セキュリティフォルダを隠す

セキュリティフォルダを隠して(非表示にして)、本製品内から見えなくします。セキュリティフォルダのデータが読み書きできなくなります。

パソコンの電源が入った状態で、USBフラッシュメモリをパソコンから取り外す際には、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないと取り外すと、エラーメッセージが表示されます。その後、ドライブアイコンをゴミ箱にドラッグして、デスクトップからUSBフラッシュメモリのドライブアイコンが消えたことを確認して、本製品を取り外してください。無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。

- 1 USBフラッシュメモリから起動しているプログラムやウィンドウを閉じます。
- 2 PASS × AES画面で[隠して終了]ボタンをクリックします。
- 3 セキュリティフォルダ内のデータを暗号化して、セキュリティフォルダを見えなくします。



セキュリティフォルダを表示しているときに、PASS × AES画面が表示されていない場合は、USBフラッシュメモリ内の「PASS × AES」をダブルクリックするか、Dockのアイコンをクリックすると、PASS × AES画面が表示されます。

セキュリティフォルダおよびPASS × AES画面を表示する

セキュリティフォルダを表示してデータを読み書きする場合や、PASS × AES画面を表示してPASS × AESの設定を変更する場合は、次の手順でPASS × AESを起動します。

- 1 USBフラッシュメモリ内の「PASS × AES」をダブルクリックします。初期設定画面が表示されます。

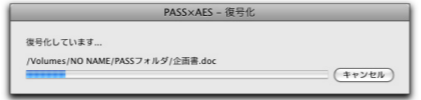
パスワードレスとして登録しているパソコンに本製品を接続している場合は、パスワードを設定していても認証画面は表示されず、PASS × AESが起動します。「パスワードを入力せずにPASS × AESを起動する」を参照してください。

- 2 「パスワード」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



[ヒント]ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

セキュリティフォルダ内の暗号化されたデータを複合化します。USBフラッシュメモリ内にセキュリティフォルダが表示されます。



また、PASS × AES画面が表示されます。

PASS × AESを起動したときに、PASS × AES画面が表示されないように設定することもできます。「PASS × AES起動時にPASS × AES画面を表示しない」を参照してください。

USBフラッシュメモリを取り外すときは、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないと取り外すと、エラーメッセージが表示されます。



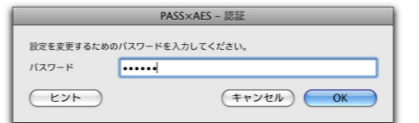
PASS × AESの設定を変更する

PASS × AESの設定を変更するときは、次の手順で設定画面を表示し、各設定を変更します。

- 1 PASS × AES画面の[設定]ボタンをクリックします。認証画面が表示されます。

PASS × AES画面が表示されていない場合は、「セキュリティフォルダおよびPASS画面を表示する」を参照してください。

- 2 「パスワード」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



[ヒント]ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

設定画面が表示されます。各設定の詳細は、以降を参照してください。

PASS × AES起動時にPASS × AES画面を表示しない

PASS × AESを起動したときに、PASS × AES画面を表示しないように設定できます。

- 1 設定画面を表示し、[全般]タブで「起動時にウィンドウを表示しない」にチェックを入れます。



- 2 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

パスワードを変更する

現在設定しているパスワードとヒントを変更できます。

- 1 設定画面を表示し、「パスワード」タブをクリックします。

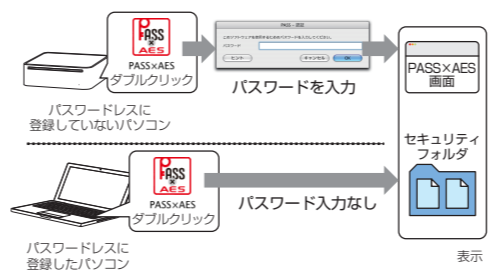


- 2 各項目を入力します。詳細は、「セキュリティフォルダを作成する」の手順3を参照してください。

- 3 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

パスワードを入力せずにPASS × AESを起動する

いつもご使用になっているご自分のパソコンなどをパスワードレスパソコンとしてあらかじめ登録しておくこと、パスワードを入力しなくてもPASS × AESを起動できます。他のパソコンではデータを盗み見されないように保護し、ご自分のパソコンではすぐに読み書きしますので、頻りにデータをやり取りする場合などに便利です。



登録したパソコンにお使いのUSBフラッシュメモリを接続した場合のみ、「PASS × AES」をダブルクリックするだけで、すぐにPASS × AES画面とセキュリティフォルダが表示されます。

■本製品にパスワードレスパソコンを登録する

MacintoshとWindowsパソコンを合わせて3台まで登録できます。

- 1 登録するパソコンにお使いのUSBフラッシュメモリを接続します。

お使いのUSBフラッシュメモリを接続したパソコンのみ登録することができます。必ず登録するパソコンにPASS × AESをコピーしたUSBフラッシュメモリを接続し、以降の操作を行ってください。

動作環境とユーザーサポート

動作環境

USB2.0/1.1インターフェースを装備し、Windows® 2000 (SP4) /XP(~SP3)、Windows Vista®(~SP2)、Windows® 7が動作するWindows®パソコン
MacOS X 10.4、10.5、10.6を搭載したMacintoshパソコン

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support

こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAXによるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL : 0570-084-465

FAX : 0570-050-012

[受付時間]

9:00 ~ 19:00

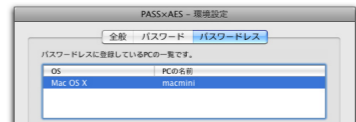
年中無休

- 5 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

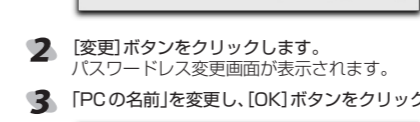
■登録したパスワードレスパソコンの名前を変更する

登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも変更できます。

- 1 設定画面を表示し、「パスワードレス」タブで変更するパスワードレスパソコンの「PCの名前」を選択します。



- 2 [変更]ボタンをクリックします。パスワードレス変更画面が表示されます。



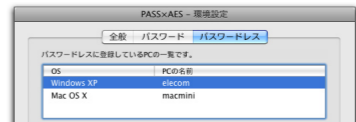
- 3 [PCの名前]を変更し、[OK]ボタンをクリックします。

- 4 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

■登録したパスワードレスパソコンを削除する

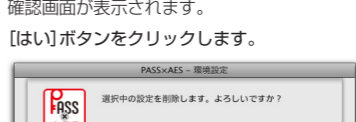
登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも削除できます。

- 1 設定画面を表示し、「パスワードレス」タブで削除するパスワードレスパソコンの「PCの名前」を選択します。



- 2 [削除]ボタンをクリックします。確認画面が表示されます。

- 3 [はい]ボタンをクリックします。



- 4 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

セキュリティソフト

PASS(Password Authentication Security System) × AES

ユーザーズマニュアル

2009年11月10日 第1版

- ・本ユーザーズマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、サポートセンターまでご連絡願います。
- ・本製品の仕様は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品のうち、戦略物資または役に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- ・Windows 7、Windows Vista 及び Windows logo は、Microsoftの企業グループの商標です。
- ・Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- ・その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。